

# 大学研究室紹介 vol.5

愛知産業大学短期大学 橋元慶男 教授

先生に関するその他の情報については、  
<http://www.okazakicci.or.jp/konwakai/>  
をご参照ください。

## 専門は何ですか？

臨床心理学、社会心理学を中心としたカウンセリング、グループワーク、グループアプローチを専門にしています。カウンセリングは1対1、グループワーク、グループアプローチは10人～15人程度で行う集団心理療法です。従来のman to manの個人カウンセリングから、Groupでの集団力学を活用しての相互学習が大切です。

学校は対症療法的な治療(cure)でなく、成長を援助(care)する教育活動が必要です。

「人は人によってしか磨かれない」との言葉のように、構造的なグループ体験が人格形成には必要です。開発的・予防的な学校教育にグループアプローチを活用した、ストレス・マネジメント教育、アンガー(怒気)マネジメント、アサーション(表現)トレーニング等のメニューの実施にも取り組んでいます。

最近、日韓の不登校生の状態像の比較研究に取り組んでいます。不登校児童・生徒は自己表現や感情コントロールが上手くできず、対人関係で自信喪失になっています。また適切にストレス解消ができず不適応状態にあります。

韓国では、一時的なカウンセリングの支援より、将来の不登校生の適性の開発を優先している向きがありますが、学校ストレスも大きく、グループアプローチの展開が必要です。

日韓の違いは韓国には引きこもりが少ないことです。それは、「子供が学校に行かず、家にいる」ことが許されない家庭や家族制度と、儒教などの文化の影響と「代案教育」の存在です。韓国では、高校までが義務教育で、大学を出ると就職や将来が保障されるため、日本以上に受験競争が熾烈です。そのため不登校になる子どもが多いのですが、韓国では登校拒否とは言わず「自退生」と呼びます。自退生は国が運営する「代案教室(もう一つの学校)」という学校以外の場所で復帰プ

ログラムに入ります。プログラムもソウル大学等のプロジェクトチームで作られ、メニューの選択肢も多様で、不登校生自身の適性を伸ばす機会に出会って、明るく取り組んでいるのが印象的です。このように日本でも国の対策が求められています。



## コミュニティ サテライト オフィスに一言！

今年度様々な講座をやらせていただきましたが、その1つに「市民のための心の相談」をやらさせていただきました。相談の多さに驚くとともに相談室もあるので、大学の先生がもっと心理相談をやればいいのではないかと思います。今は週1回人間環境大学の廣利先生が発達障害児を対象とした相談室のみです。もっと不登校の分野など様々な分野で貢献できるのではないかと思います。もっともこのサテライトがそのような場所に使われていけばと考えております。

## 地域活性化へ一言！

今、サラリーマンの自殺が非常に多いです。これまで体の健康はよく注目されてきましたが、メンタルな面についてはあまり重要視されてきませんでした。しかし最近うつ病も労働災害の対象に入り、企業責任が問われるようになりました。今後は、ストレスのマネジメントにも目を向けていき、人間関係、メンタルな面の啓蒙・啓発、問題意識を活性化していかなければならないと思います。

先生にご連絡を希望される方は、事務局までお問合せください。岡崎大学懇話会事務局 担当 加藤 53-6191

## 第4回学生フォーラム

参加無料



日時：2月22日  
15時～18時30分  
交流会も予定しています。  
場所：コミュニティ サテライト  
オフィス

内容：学生が企画・運営し、市内4大学の学生が日々の研究成果を発表します。

### 愛知学泉大学

「グループホームにおける痴呆高齢者の役割・グループホームへの栄養士のかかわり方」  
家政学部 木全信恵・野村侑未  
「バリアフリー観光地の現状と課題～東三河と高山市を比較して～」  
家政学部 廣永由香

### 愛知産業大学

「環境問題 - リサイクル法 -」  
経営学部経営学科 中根崇博  
「有松『竹田嘉兵衛商店』の外観構成に関する研究」  
造形学部 建築学科 小倉裕介

### 人間環境大学

「今を生きるものづくり  
～西三河の伝統産業と地域活性化～  
西三河グリーンマップ/  
人間環境大学ものづくり研究会 佐浦重明

「カイゼンから考える地域活性化」  
人間環境学部 伊藤伸明・遠竹明奈

### 岡崎女子短期大学

「ダウン症児とその親にとって過ごしやすい社会環境」  
幼児教育学科第一部 兵藤綾子  
「女性の就業意識」  
経営実務科 加藤佳子・清水めぐみ

